

平成28（2016）年度

# 南信高等学校新人体育大会

## 空 手 道 競 技 会

兼 第54回

南信高等学校空手道選手権大会

日時 平成28年10月2日（日）  
8：30～17：00

場所 飯田高校小体育館  
TEL 0265-22-4500

主催 南信高等学校体育連盟  
主管 南信高体連空手道専門部

<b>大会役員</b>	大会長：今井秀幸（伊那北高等学校長） 専門委員長：木下俊英	会場長：牧島晃（飯田高等学校長） 専門委員：三木博隆 青木淳
<b>競技役員</b>	競技委員長：木下俊英 総務・運営・会計：木下俊英 記録・掲示：西原志保・三木博隆 会場・用具：松村良則 コート係：Aコート：三浦正二実 補助員：各校空手道部員	競技副委員長：三木博隆 競技・進行：三木博隆 西原志保 式典・表彰：木下俊英 救護 河尻隆弘（看護師）・高山一洋 Bコート：松村良則
<b>審判員</b>	審判長：木下俊英	審判員：高体連審判員 長野県空手道連盟審判員

## 競 技 説 明

### 1. 競技規定

競技は、(財)全日本空手道連盟制定の競技規定・審判規定に準じて行い、運用については全国高体連空手道部競技規定並びに申し合わせ事項による。

### 2. 競技方法

- 組手競技 ○団体・個人ともトーナメント制とし、8ポイント差もしくは時間終了時のポイントによる。  
○安全具(男子6点,女子3点セット)を着用すること。メンホーはニューメンホーV,拳サポーター・シンガード・インステップガード(全国高体連検定品)・男子はファールカップを装着すること。
- 形競技 ○フラッグ方式による。  
○男女とも3回戦まで、赤・青同時に演武する。  
○演じる形は以下のとおりとする。

	男子個人形	女子個人形	備 考
1回戦	第1指定形	第1指定形	同一形でも異なる形でもよい
2回戦			
3回戦	第2指定形	第2指定形	同一形でも異なる形でもよい
準決勝戦			
3位決定戦	自由形	自由形	準決勝までに使用した以外の形
決勝戦			

○団体形は3校以下の場合には自由形とする。(同じ形を繰り返し演武してもよい)

### 3. 注意事項

1. 頭髪――男子はスポーツマンらしい頭髪にし、パーマ、リーゼント、染色、ソリ、ヒゲ等は禁止。  
女子はヘアピン等の危険物の使用は禁止。男子・女子ともピアス等は禁止とする。
2. 形、組手ともにメガネの使用は禁止。
3. ※組手・形とも赤・青帯を使用する。胴着(上着)の腰ひもは必要(必ずしぼる)。胸のひもは不可。

#### 競技大会中の事故の対応について(高体連)

- 1 準備運動を入念に行い、体調を万全にして試合に臨むこと。
- 2 事故の対応
  - ①顧問は直ちに負傷した生徒の保護者に連絡をとる。
  - ②顧問同士連絡をとり、今後の対応について検討する。
  - ③事故の原因究明と再発防止に向けての方策を検討する。

# 大会次第・進行日程

役員・補助員集合 8 : 30 ~

監督・審判会議 8 : 45 ~

開会式 9 : 00 ~

## 競技

### 【形競技】

- (1) 女子個人形 1 ~ 3 回戦 (A・B コート) a(9), b(9) 9 : 20 ~ 9 : 50
- (2) 男子個人形 1 ~ 3 回戦 (A・B コート) a(8), b(8) 9 : 55 ~ 10 : 25
- (3) 男子個人形準決勝・3 決・決勝 (A コート) A(4) 10 : 30 ~ 11 : 00
- (4) 女子個人形準決勝・3 決・決勝 (B コート) B(4)
- (5) 男女団体形 (A・B コート) a(1), b(1) 11 : 10 ~ 11 : 15

### 【組手競技】

- (6) 男子個人組手 1 ~ 3 回戦 (A・B コート) a(8), b(8) 11 : 30 ~ 12 : 15

## 昼食

12 : 15 ~ 12 : 50

- (7) 女子個人組手 1・3 回戦 (A・B コート) a(7), b(7) 12 : 50 ~ 13 : 25

- (8) 男子個人組手 4 回戦 ~ 準決勝戦 (A コート) (2) 13 : 30 ~ 13 : 40

女子個人組手 4 回戦 ~ 準決勝戦 (B コート) (2)

- (9) 男子個人組手 3 決・決勝戦 (A コート) (2) 13 : 45 ~ 13 : 55

女子個人組手 3 決・決勝戦 (B コート) (2)

- (10) 女子団体組手決勝 (A コート) 14 : 05 ~ 14 : 45

男子団体組手決勝 (A コート)

閉会式

15 : 00 ~

## 形競技（同時演武）における選手・審判・補助員の動き

- ① 組手と同じように、赤・青に分かれコートサイドに整列。（赤は正面に向かって左側）  
※ 1回戦の選手は招集時に形名を申告用紙に記入しコート係員に提出、係員は主審に渡す。
- ② 主審「正面に礼、お互いに礼」
- ③ **補助員「〇回戦、第〇試合、赤〇〇高校〇〇選手、青〇〇高校〇〇選手」**  
※ 選手は、コート外の所定の位置まで進み、**正面に礼をし、お互いに礼をする。**  
※ 次の試合の選手（赤・青）のみが準備してもよい
- ④ コートに入り、**一礼し、形名を告げ、用意の姿勢で待つ。**（演武前に必ず礼をすること）
- ⑤ 形名を確認したら**主審は「ピッ」と笛を吹き、その笛の合図で演武を始める。**
- ⑥ **演武が終了したら、コート外へ出て、判定を待つ。**
- ⑦ 判定：主審が笛を吹く「判定 ピー ピッ」  
※笛の合図とともに副審は赤（右手）・青（左手）いずれかの旗をあげる。
- ⑧ 主審は5秒待って笛を吹く。笛の合図で審判員は旗を降ろす。
- ⑨補助員は勝った選手の旗を挙げ、勝ちを宣告する。「赤の勝ち」
- ⑩ 選手は、**お互いに礼をしたあと、正面に礼をして、コートサイドに戻り座る。**

## 形競技（ベスト4以上）における選手・審判・補助員の動き

※選手は補助員席の横で待機している。

- ①補助員「準決勝(3位決定戦・決勝戦)、赤〇〇高校〇〇選手、青〇〇高校〇〇選手」  
※審判員は当該校の選手の試合ではないことを確認する。
- ②赤の選手がコートに入り、演武する。（青の選手は練習していてよい）  
**※正面に礼、お互いに礼はしない。（赤のみが入場する）**
- ③赤の選手が演武を終えてコートから出たら、青の選手が演武する。  
※「青〇〇選手」と呼ばない。赤の選手は椅子に座って待機していること。
- ④青の選手の演武が終りコートから出たら、赤の選手も並んで、判定を待つ。
- ⑤審判の動きは上記と同じ。
- ⑥ 選手は、**お互いに礼をしたあと、正面に礼をして、コートサイドに戻り座る。**

**演武前と後の一礼を忘れないこと**

# 大会成績

平成28年 10月2日  
飯田高校小体育館

			1位	2位	3位	4位	5～8位		
個人戦	男子	組手					5 ( )	5 ( )	
							5 ( )	5 ( )	
		形					5 ( )	6 ( )	
							7 ( )	8 ( )	
	女子	組手					5 ( )	5 ( )	
							5 ( )	5 ( )	
		形					5 ( )	6 ( )	
							7 ( )	8 ( )	
団体戦	男子	組手					◆団体戦全出場校、 個人戦組手上位16名 個人戦形上位8名が 南信地区代表として 県大会に出場する		
		形							
	女子	組手							
		形							